様式２

令和６年度 （柏陽高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○　課題・目標別実施結果

課　　題	目　　標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	勤務時間の内外を問わず、県民からの信頼を損なうことがないように、自らを律して行動する。	○職員啓発資料等を参考にし、教育公務員としての自覚を促し、モラルの向上、法令順守等について徹底した。 ○ 職員相互及び管理監督者とのコミュニケーションを大切にした職場環境づくりを進めた。
職場のハラスメント(パワハラ、セクハラ、マタハラ等)の防止	人権意識を磨き、良好な職場環境の確立・維持に努め、ハラスメントを根絶する。	○ハラスメントを未然に防止できるような職場環境に全職員で取り組んだ。 ○職員啓発資料等を参考にし、ハラスメントに関する理解を深めるとともに 人権意識の向上を図った。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	職員一人ひとりが人権意識を磨き、絶対に当該行為を起こさない。	○ 教育実習期間前にセクハラ防止研修を実施し、教育実習生オリエンテーションでも講話を行った。 ○ 本校SSWを講師として、生徒の人権についての職場研修を実施して意識啓発を行った。
体罰、不適切な指導の防止	常に相手の立場や人権に配慮した言動に努め、絶対に当該行為を起こさせない。	○ 職員啓発資料等を参考にし、生徒の人権侵害に係わる不祥事防止を周知するとともに職員の意識の向上を図った。 ○ 生徒理解に基づく指導を徹底した。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	全員が当事者意識を持って業務にあたり、組織的な取組みで事故を未然に防ぐ。	○ 職員全員で点検体制や業務マニュアルを再確認し、入選業務に関する職員の共通理解を徹底した。 ○ 過去の事故事案について、職員に周知し、事故の未然防止に努めた。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策(パスワードの設定､誤廃棄防止)	個人情報の漏洩及び紛失を未然に防ぐ。	○ 情報セキュリティの点検や研修会を実施し、職員の意識の向上を図った。 ○ 個人情報の学校外持ち出しの際「個人情報校外持ち出し許可願」の提出とその後の直帰を厳守した。また、パスワードの設定等の漏洩防止対策の徹底を図った。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規を遵守して交通事故を防ぐとともに、酒酔い・酒気帯運転を根絶する。	○ 職員啓発資料等を参考にし、交通法規の遵守により交通事故を防ぐとともに、酒酔い・酒気帯運転の根絶を徹底した。
業務執行体制の確保等	教育公務員としての高い倫理観を持ち、組織として計画的かつ適正に業務を執行する。	○職員啓発資料等を参考にし、報告連絡相談を励行し、様々な課題を組織で対応する雰囲気を醸成した。 ○Teamsの活用等ICTの利活用を推進し、情報の共有化、公務の効率化を図った。
財務事務等の適正執行	私費会計基準に則して適正に会計処理を行う。	○ 私費会計事務の執行について、職員啓発資料等を参考に私費会計基準に基づいた適正な会計処理を周知した。

○　令和６年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和７年度に取り組むべき課題

（学校長意見）

不祥事防止については、事故が発生した直後には意識しているが、喉元過ぎれば熱さを忘れるといった状況になりがちである。そのため、過去の事例等を教訓とし、未然に防ぐという決意で取り組んできた。

○朝の打合せ掲示板や職員室内の掲示板等へ不祥事防止に関する通知や資料の掲載、及び全体の周知により意識啓発を行ってきた。

○定期的な不祥事防止会議により計画的に不祥事防止研修会を実施してきた。

○今年度も不祥事ゼロを達成したが、不祥事防止は繰り返し指導することが不可欠であると考える。今後も様々な方法を考え取り組んでいきたい。